

研究背景

車室内における音の提示

運転手は多くの情報を受ける

視覚情報は多種多様

→ 聴覚情報には拡張の余地あり

音像定位の制御により, 情報価値向上

研究目的

後頭部スピーカによる音像定位

汎用的なHRTFを使用
+

水平面や仰角, 俯角方向の音像定位

▼

座位状態への音像提示が可能

研究内容

各要素の影響を把握	後頭部スピーカを把握	実用上の精度を検討
<p>各要素による, 精度を把握</p> <ul style="list-style-type: none">・ 周波数・ 吹鳴・ 残響  <p>組合せの 検討実施</p>	<p>スピーカ距離を変更</p> <ul style="list-style-type: none">・ 至近距離の音源・ 遠距離の音源 <p>頭部伝達関数の差を把握</p>	<p>実用を再現</p> <ul style="list-style-type: none">・ 音の変更・ 視覚情報・ 運転操作  <p>実用上の課題 現状の把握</p>